

人文研究総目次

1964年1月 (第27輯)

| | | |
|---|------|-------|
| ロシア・ソビエトにおける中国文学研究…………… | 川上久寿 | (1) |
| W. S. モーム作お菓子とビールに関する覚書…………… | 脇田勇 | (25) |
| Language Testing に関する覚書…………… | 北市陽一 | (53) |
| ドイツ文芸学方法論考V —19世紀歴史学派について(3)—…………… | 関徹雄 | (67) |
| E. v. ロヒョーの啓蒙, 宗教および道徳観について —E. v. ロヒョーの「国民教育」論(その5)—…………… | 田中昭徳 | (91) |
| 動機理論の発達の再構成(Ⅱ)…………… | 馬場道夫 | (111) |
| 学校水泳の実態調査…………… | 杉山登 | (129) |
| 越人と『莊子』…………… | 広田二郎 | 1 |

1964年7月 (第28輯)

| | | |
|---|-------|-------|
| ベルヌーイ数の周辺…………… | 武隈良一 | (1) |
| サミュエル・パトラーとダーウィン説(Ⅰ) —パトラーの機械観—…………… | 飛田茂雄 | (23) |
| ディラン・トマス論 —その詩的想像力と「戦争」—…………… | 久納泰之 | (49) |
| 英語複合母音核音の解釈と表現の問題点…………… | 高嶋稔 | (75) |
| ゴーリキィに関する覚え書 〈コロレンコとの交友をめぐるその4〉…………… | 松本忠司 | (93) |
| 『規範論』序説…………… | 一色忠良 | (119) |
| 現象と自由(一) —カント二元論と美の問題—…………… | 川村三千雄 | 1 |
| イギリス革命における宗教的寛容の問題…………… | 浜林正夫 | 21 |

1965年1月 (第29輯)

| | | |
|----------------------------------|------|------|
| W. S. モーム作「ドン・フェルランド」の教えるもの…………… | 脇田勇 | (1) |
| ロシア・ソビエトにおける中国文学研究Ⅱ…………… | 川上久寿 | (23) |
| ハインリヒ・ベル試論…………… | 中川勇治 | (47) |
| 学校水泳の現代化…………… | 杉山登 | (71) |
| 許六と『莊子』…………… | 広田二郎 | 1 |

1965年7月 (第30輯)

| | |
|--|-----------|
| ディラン・トマス批評の断層…………… | 久納泰之(1) |
| サミュエル・バトラーとダーウィン説(Ⅱ) —「生活と習慣」について—…………… | 飛田茂雄(27) |
| バルメスにおけるナショナルリズム…………… | 一色忠良(51) |
| 英語聴覚テストの検討 —R. Lado の所説を中心として—…………… | 高嶋稔(77) |
| フリードリヒ・エーベルハルト・フォン・ロヒョーの 生涯・思想および業績について(その一)…………… | 田中昭徳(119) |
| 消息欄…………… | (143) |

1966年1月 (第31輯)

| | |
|--|-----------|
| 魯迅初期の論文にかんするパズネーエワの所論…………… | 川上久寿(1) |
| W. S. モームの小説の歴史的概観 —その一 1897年より1914年まで—…………… | 脇田勇(25) |
| 英語の単純形と進行形…………… | 北村正司(49) |
| 動機づけの測度としてのGSRとタッピング速度…………… | 馬場道夫(73) |
| エスキモー語の音位転倒…………… | 宮岡伯人(97) |
| フリードリヒ・エーベルハルト・フォン・ロヒョーの 生涯・思想および業績について(その二)…………… | 田中昭徳(127) |
| 支考と『莊子』 —『二十五箇条』の虚実論樹立まで—…………… | 広田二郎 1 |

1966年7月 (第32輯)

| | |
|--|-----------|
| 自由の問題 —バルメスの思想の一断面—…………… | 一色忠良(1) |
| ヘンリー・ミラーの受容の思想…………… | 飛田茂雄(25) |
| ゴーリキイの初期創作における語り手の形象について…………… | 松本忠司(49) |
| ヘルマン・ハインベルの歴史研究 —戦後の西ドイツと ヒストリスムスに関する覚書(1)—…………… | 阿部謹也(77) |
| 英語の限定辞に関する一考察…………… | 高嶋稔(101) |
| フリードリヒ・エーベルハルト・フォン・ロヒョーの 生涯・思想および業績について(その三)…………… | 田中昭徳(119) |

1967年1月 (第33輯)

| | | |
|---|------|-------|
| 整数論と計算機 | 武隈良一 | (1) |
| 魯迅の曲筆と暴露 | 川上久寿 | (27) |
| <i>KING LEAR</i> における時間的継起について (1) | 山本幸男 | (55) |
| ムジールのベルリン修学時代 | 中川勇治 | (75) |
| エスキモー語の二つの廃用接尾辞について | 宮岡伯人 | (99) |
| ハインベルの宗教改革について ——戦後の西ドイツと ヒストリスムスに関する覚書 (2)—— | 阿部謹也 | (119) |
| フリードリヒ・エーベルハルト・ フォン・ロヒョー生涯・思想 および業績について (その四) | 田中昭徳 | (149) |

1967年7月 (第34輯)

| | | |
|---|-------------------|-------|
| 国際印度洋調査 (IOE) と SCOR-UNESCO 化学比較作業について | 斎藤要 | (1) |
| ロシア文学における知識人の問題 | 松本忠司 | (29) |
| ラグビーにおける体力トレーニングの一方 | 藤江正 | (75) |
| 体力に関する調査研究 (その1) | 杉山登正 | (109) |
| Symbolic Reference in the Letter Poetry of W. B. Yeats | Richard A. Sterry | (139) |
| エヌ・ヴェ・ソーンツェワ著 『中国語の受動態』 (翻訳) | 川上久寿 | (155) |
| フリードリヒ・エーベルハルト・ フォン・ロヒョーの生涯、思想 および業績について (その5) | 田中昭徳 | (199) |
| 藤原定家論覚え書 | 細谷直樹 | 1 |

1967年12月 (第35輯) 特別号

木曾栄作名誉教授記念号

| | | |
|--------------------------------------|--------|------|
| 木曾栄作教授への感謝 | 実方正雄 | (1) |
| 木曾栄作先生の人と業績 | 北村正司 | (3) |
| 「企業者」という人間像 ——その類型とリーダーシップ・パターン—— | 伊藤森右衛門 | (13) |
| ディラン・トマスとウェイルズ | 久納泰之 | (25) |

| | |
|---|----------------------|
| 英語教育の問題点 | 脇田 勇 (41) |
| A Tentative Classification of Pronunciation Errors in English as a Foreign Language | Yoichi Kitaichi (55) |
| <i>The Winer's Tale</i> 論 | |
| —Time, the Chorus の問題— | 山本幸男 (83) |
| ジェイムズ・ジョイスの『亡命者』 | 永原和夫 (111) |
| 「資本自由化」の視点 | 麻田四郎 1 |
| 文芸裁判と「猥褻文書」の概念(上) | 飛田茂雄 15 |
| 木曾栄作名誉教授略歴および著作目録 | (135) |

1968年4月 (第36輯)

| | |
|-----------------------------------|------------|
| Brueckner 理論と変分法の関係について | 原田 稔 (1) |
| 近似日本語材料の直接再生実験 | 増山英太郎 (13) |
| 整数論と計算機(Ⅱ) | 武隈良一 (63) |
| 『ローランの歌』における若干の類義語(続) | 目黒士門 (79) |
| エヌ・ヴェ・ソーンツェワ著 『中国語の受動態』(翻訳) | 川上久寿 (89) |
| ヴォルフガング・カイザー著 『近代小説の成立と危機』(翻訳) | 中川勇治 1 |
| 文芸裁判と「猥褻文書」の概念(中) | 飛田茂雄 56 |

1968年10月 (第37輯)

| | |
|--------------------------------|------------|
| John Ford 人と作品 (1) | |
| —その習作時代(1606-1620)— | 山本幸男 (1) |
| ジョイスの『肖像』に関する二章 | 永原和夫 (33) |
| フランス語における アスペクトとその構成因子について | 目黒士門 (67) |
| 近似日本語材料の直接再生実験 Ⅱ | |
| —計量心理学研究 その2— | 増山英太郎 (97) |
| 未開発体育問題に関して (1) | |
| —Obesity の実態と 体育指導問題を中心として— | 杉山 登 (117) |
| 体力に関する調査研究(その2) | 杉山 登 (137) |
| 文芸裁判と「猥褻文書」の概念(下) | 飛田茂雄 1 |

1969年3月 (第38輯) 特別号

松尾正路名誉教授記念号

| | |
|---------------------------------|------------|
| 松尾正路名誉教授の退官を惜しむ…………… | 実方正雄 (1) |
| 回顧…………… | 松尾正路 (3) |
| デカルト…………… | 武隈良一 (9) |
| 晩年のエロシエンコ…………… | 川上久寿 (31) |
| ゴーリキイの家系について…………… | 松本忠司 (57) |
| William Somerset Maugham | |
| ——英文学における作家としての位置について—— | |
| …………… | 脇田勇 (99) |
| John Ford 人と作品 (2) | |
| ——Thomas Dekker との出会い——…………… | |
| 山本幸男 (119) | |
| アメリカ英語における北部方言の特徴について…………… | 武本昌三 (153) |
| フランス文法における「同格」の概念…………… | 目黒士門 (175) |
| 「毎月抄」私注…………… | 細谷直樹 1 |
| 松尾正路名誉教授略歴および著作目録…………… | (203) |

1969年10月 (第39輯)

| | |
|----------------------------------|------------|
| ソ連版画家にあてた魯迅の書簡…………… | 川上久寿 (1) |
| 九十年代批評におけるゴーリキイ…………… | 松本忠司 (19) |
| スペクトル解析のための フォートラン・プログラム…………… | 増山英太郎 (41) |
| アメリカ英語における南部方言の特徴について…………… | 武本昌三 (49) |
| 意味解釈の能力をめぐって…………… | 菅原光穂 (77) |

1970年3月 (第40輯)

| | |
|---|-----------|
| Somerset Maugham における旅…………… | 脇田勇 (1) |
| Audio-Lingual Approach の再吟味…………… | 北村正司 (17) |
| 言語構造と意味 | |
| ——動詞 Have のいわゆるPassive of Experience をめぐって——…………… | |
| 菅原光穂 (35) | |
| 構造言語学と成層文法…………… | 高嶋稔 (59) |
| Temporal Qualities in the Novels of William Styron …………… | |
| Mark Landa (73) | |
| 初期新高独語期設定をめぐる 最近の動向について…………… | |
| 小野光代 (95) | |

スキーにおける技術指導と体力育成

——特に初心者の指導内容と方法について——……………藤 江 正 (115)

1970年8月 (第41輯)

『ルーンをめぐりて』の世界と語り手の課題
(自伝的主人公の問題Ⅱ)……………松 本 忠 司 (1)

アメリカ英語における中部方言の特徴について……………武 本 昌 三 (19)

『ロランの歌』における「キリスト教的驚異」……………目 黒 士 門 (43)

言語構造と意味
——動詞のいわゆる *Passive of Experience* をめぐって——……………菅 原 光 穂 (59)

Candida における舞台と観客……………島 村 東 太 郎 (81)

英米文学研究における文体論の位置……………菊 池 昭 (101)

1971年3月 (第42輯)

魯迅と郁達夫……………川 上 久 寿 (1)

ラグビーにおけるインターバル・トレーニングの応用……………藤 江 正 (17)

Joyce と Vio (一)……………永 原 和 夫 (41)

1843年英国劇場法の内容……………島 村 東 太 郎 (77)

Light in August における現実描写……………菊 池 昭 (97)

1971年11月 (第43輯) 特別号

小樽商科大学創立60周年記念号

ルードヴィヒ・ナトルプの教育思想と
「プロイセン教育改革」(1809-1819)
におけるその業績について [その1]……………田 中 昭 徳 (1)

Rittergut の構造について……………阿 部 謹 也 (39)

ゼノンの逆説をめぐって I……………武 隈 良 一 (73)

人間と魚類の血清蛋白質に関する比較生化学的研究……………斎 藤 要 (91)

水泳プールに関する調査研究……………杉 山 登 (119)

ラグビー傷害とその問題点……………藤 江 正 (143)

陳紹禹(王朝)とその魯迅論……………川 上 久 寿 (165)

『ルーンをめぐりて』における《遍歴者》の形象と課題
(自伝的主人公の問題Ⅲ)……………松 本 忠 司 (183)

『荆刀の刃』に関する覚書……………脇 田 勇 (203)

| | | |
|---|------------------------|-------|
| 『ダブリン市民』——麻痺の中心…………… | 永原和夫 | (217) |
| 黒人文学の統計的研究 | | |
| ——Baldwin への一つのアプローチ | | |
| (Wright, Faulkner との比較において) …… | 菊池 昭 | (249) |
| アメリカ英語方言概観——語いについて—— | 武本昌三 | (271) |
| 新高独文章語成立における都市と書き言葉 | 小野光代 | (311) |
| Adverbiai Transportation …………… | Mitsuho Sugawara | (347) |
| Henry Ford: An Adventure with the Peace | | |
| Movement of 1915-1916 …………… | Richard D. Aufdenkampe | (371) |
| 『毎月抄』私注…………… | 細谷直樹 | 1 |

1972年8月 (第44輯)

| | | |
|------------------------------------|-----------|------|
| 露訳『野草』の注釈について…………… | 川上久寿 | (1) |
| サマセット・モームの世界…………… | 脇田 募 | (21) |
| スキー技術の推移…………… | 藤江 正 | (39) |
| Emma, Polly, Gerty, Molly: Joyce's | | |
| Women and the Progression of | | |
| "Simplicity" …………… | Dick Ward | (59) |
| 英語聴覚能力の一傾向 | | |
| ——L. L. における調査から——…………… | 根本 慎 | (81) |
| 徒然草の編集過程について…………… | 細谷直樹 | 1 |

1973年3月 (第45輯)

武隈良一名誉教授記念号

| | | |
|--|------|-------|
| 武隈教授の退官を惜しむ…………… | 実方正雄 | (1) |
| 偶然について…………… | 武隈良一 | (3) |
| 魯迅の訳業に対するベルジスグの批判…………… | 川上久寿 | (19) |
| Faulkner 文学における愛と死の意味(1) …… | 菊池 昭 | (31) |
| 現代生活と身体運動…………… | 藤江 正 | (49) |
| Reading の指導法に関する若干の問題点について …… | 武本昌三 | (71) |
| "Ackermann aus Böhmen" における | | |
| 方言と文章語の問題について…………… | 小野光代 | (87) |
| Questions on Fodor's Three Reasons for Not | | |
| Deriving Kill from Cause to Die …………… | 菅原光穂 | (109) |
| 武隈良一名誉教授略歴・著作目録…………… | | (125) |

1973年9月 (第46輯)

- モダニズムに関する覚書……………永原和夫(1)
 Faulkner 文学における愛と死の意味(Ⅱ)……………菊池昭(35)
 Kill ⇐ Cause to die を支える
 Syntactic Evidence は何か……………菅原光穂(49)

1974年3月 (第47輯)

- Of Human Bondage* 試論……………脇田勇(1)
 スペイン語のいわゆる非人称
 および受動の *se* ……………寺崎英樹(17)
 "Borrow'd Robes" and "Naked Frailties";
 An Essay on the Theme and Dramatic
 Structure in *Macbeth* Viewed
 Mainly through Imagery ……………君羅久則(35)
 わが国近代商業教育制度の成立過程(その1)……………田中昭徳 1

1974年9月 (第48輯)

- 劇作家ゴーリキイの出發……………松本忠司(1)
 中国の“文化革命”後における
 魯迅作品の運命……………ア・エヌ・チェラホヴツェフ(25)
 (川上久壽訳)
 動詞の自・他の対立に関する一考察(Ⅰ)
 —意味的特徴の変化を中心として—……………高嶋稔(49)
 産卵溯上期サケ (*Oncorhynchus Keta*) の
 体カロチノイド色素に関する生化学的
 研究Ⅱ—産卵溯上期の表皮カロチノ
 イドの挙動……………北原直・斎藤要(69)

1975年3月 (第49輯)

- ラグビーのゲーム分析……………藤江正(1)
 The Nature of Thomas Sutpens
 Tragedy in *Absalom, Absalom* ……………菊池昭(27)
 Oracular Nature:
 Arnold's Romantic Quest ……………Jon Barry SANDERS(43)
Of Human Bondage 試論—Ⅱ……………脇田勇(59)
 ベーベルのはじめの婦人論(Ⅰ)……………倉田稔(75)

完了過去は完了的な過去

——スペイン語の完了過去と不定過去——……………寺 崎 英 樹 (87)

1975年10月 (第50輯)

- ソ連における現代漢語「是」の研究……………川 上 久 寿 (1)
戯曲『小市民』における《葛藤》について……………松 本 忠 司 (19)
英語教育改善のための基本問題
——誰が、何を、何故教えるのか——……………武 本 昌 三 (38)
動詞の自・他の対立に関する一考察 (2)
——意味的特徴の変化を中心として——……………高 嶋 稔 (63)
産卵溯上期サケ (*Oncorhynchus keta*) の
体カロチノイド色素に関する生化学的
研究Ⅲ——産卵溯上期の精巢に於ける
アスタキサントンの酵素的分解作用……………北原 直・斎藤 要 (81)

Eduard Bernsteins

Literarisches Werk (1) ……………倉 田 稔 (93)

Humanity Divine Incomprehensible:

The Cosmology of *The Four Zoas* ……………Jon Barry SANDERS (99)

1976年3月 (第51輯)

- 「是」かんする若干の疑問……………川 上 久 寿 (1)
Of Human Bondage 試論——Ⅲ——……………脇 田 勇 (14)
戯曲『小市民』における
ドラマトウルギーの若干の問題……………松 本 忠 司 (29)
動詞の自・他の対立に関する一考察 (3)
——意味的特徴の変化を中心として——……………高 嶋 稔 (54)
『金融資本論の成立』補遺……………倉 田 稔 (72)
Confessing through the '60's
——The "Non-Fiction Novel"
in America ……………Jon Barry Sanders (80)
「春の夜の夢の浮橋」の詠をめぐって……………細 谷 直 樹 1

1976年12月 (第52輯) 特 別 号

- 川村三千雄名誉教授の略歴と著作目録…………… (1)
北村正司名誉教授の略歴と著作目録…………… (3)

| | |
|--|-----------------------|
| 川村三千雄先生： 「カントの宗教哲学」への沈潜と思索…………… | 伊藤 森右衛門（ 7 ） |
| 川村先生の御退官を惜んで…………… | 武 隈 良 一（ 9 ） |
| 哲 学 と 私…………… | 川 村 三 千 雄（ 12 ） |
| 北村正司先生：「英語教育」45年の歩み…………… | 伊藤 森右衛門（ 16 ） |
| 北村正司教授について…………… | 木 曾 栄 作（ 18 ） |
| 回 想…………… | 北 村 正 司（ 21 ） |
| ソ連における瞿秋白（→）…………… | 川 上 久 寿（ 26 ） |
| 『どん底』についての走りがきの覚書…………… | 松 本 忠 司（ 43 ） |
| <i>Of Human Bondage</i> 試論—IV—…………… | 脇 田 勇（ 63 ） |
| 『ユリシーズ』における スティーン・ディーダラス…………… | 永 原 和 夫（ 79 ） |
| “Best Bfits the Dark”; A World of Tragic Irony in <i>Romeo and Juliet</i> …………… | Hisanori Kimira（ 97 ） |
| イギリス英語方言概観…………… | 武 本 昌 三（ 117 ） |
| 動詞の自・他の対立に関する一考察（4完） ——意味的特徴の変化を中心として——…………… | 高 嶋 稔（ 151 ） |
| スペイン語の 非人称再帰文における“se”の機能…………… | 寺 崎 英 樹（ 167 ） |
| 産卵溯上期サケ（ <i>Oncorhynchus keta</i> ）の 体カロチノイド色素に関する 生化学的研究—VI—…………… | 北原 直・斎藤 要（ 185 ） |
| わが国近代商業教育制度の成立過程（その2）…………… | 田 中 昭 徳 1 |

1977年3月（第35輯）

| | |
|---|-------------------------|
| 北海道における日本体育協会（J.A.S.A） 公認スポーツ指導員の活動状況の実態…………… | 杉 山 登（ 1 ） |
| The Eternal Mind Bounded: Psychological Organization in <i>The Four Zoas</i> …………… | Jon Barry SANDERS（ 35 ） |
| The Learner's Errors: Their Implications in Foreign-Language Instruction Patterns …………… | Reizo IWAKI（ 56 ） |
| 言語能力の一部としての可変規則…………… | 根 本 慎（ 80 ） |
| フリードリヒ・エンゲルスの実像を求めて ——カール・マルクス『フランスに おける階級闘争』へのエンゲルスの 序文（1895年）…………… | 倉 田 稔（ 99 ） |

分離派教徒の世界——R. O. Crumney,
The Old Believers and the World

of Antichrist によせて……………土 肥 恒 之 (125)

1977年12月 (第54輯)

Problems Concerning Horace Benbow's Incestuous Feelings
in the Manuscript and the Typescript of the Original

Version of *Sanctuary* (1) …………… Akira KIKUCHI (1)

Pitch Information Processing …………… Isao SHIMOMURA (27)

アメリカにおける日本語教育とその問題点……………武 本 昌 三 (45)

N. T. フェドレンコ：詩経研究——《詩経》と

その中国文学における地位……………川 上 久寿訳 (81)

『エレクトとエニッド』私注(1)……………目 黒 士 門 (89)

ロシアの「後進性」について— G. Rozaman のロシア

都市発達史に関する近業をめぐって……………栗生沢 猛 夫 (107)

1978年3月 (第55輯)

Die Negative Partikel *ni* im

Gotischen …………… Yoshikazu MASUDA (1)

Notes on an Intensive Training Program in

Japanese as a Foreign Language …… Minoru TAKASHIMA (19)

Problems concerning Horace Benbow's Incestuous
Feelings in the Manuscript and the Typescript

of the Original Version of *Sanctuary* (2) … Akira KIKUCHI (39)

Of Human Bondage 試論-V- …………… 脇 田 勇 (49)

P. D. Huet の『小説起源論』……………中 川 勇 治 (62)

「領地管理令」研究への一視角

——18世紀初頭チェルカッスキイ公領の場合……………土 肥 恒 之 (75)

1978年12月 (第56輯) 特 別 号

川上久寿名誉教授記念号

川上久寿先生の足跡——魯迅への

傾倒30有余年……………伊藤 森右衛門 (1)

川上先生と魯迅……………松 尾 正 路 (3)

職人としてのわたくし……………川 上 久 寿 (7)

The Moon and Sixpence 覚書……………脇 田 勇 (12)

| | | |
|---|-------------------|-------|
| 初稿から見た“Circe”挿話の制作方法と技法…………… | 永原和夫 | (29) |
| <i>Sanctuary</i> における「レインコート」と 「水筒」のイメージラリーについて…………… | 菊池昭 | (53) |
| Joyce and Jung and Molly Bloom…………… | Jon Barry Sanders | (69) |
| 日英語の相違とその自然的 社会的背景について…………… | 武本昌三 | (84) |
| スペイン語の基本文型…………… | 寺崎英樹 | (112) |
| 星雲——アベ・レーナルと史的唯物論の起源…………… | 渡辺祐邦 | (130) |
| ヒルファディング (1915—1918) —— ハプスブルグ帝国の第1次世界戦争時代…………… | 倉田稔 | (150) |
| 北海道におけるラグビーの実態調査…………… | 藤江正 | (170) |
| 川上久名著教授の略歴と著作目録…………… | | (201) |

1979年3月 (第57輯)

| | | |
|---|------------------|------|
| 周波数—電圧変換型ピッチ描記装置の 試作とその応用…………… | 下村五三夫 | (1) |
| エリュアールの『途絶えざる詩』について ——ミュージズとの婚礼——…………… | 江口修 | (9) |
| “Sirens”挿話の音楽…………… | 永原和夫 | (29) |
| Error Evaluation in Foreign-Language Instruction…………… | Reizo IWAKI | (50) |
| Sir Thomas Elyot's <i>The Governour</i> and the Theme of Friendship in <i>The Merchant of Venice</i> …………… | Hisanori KIMIRA | (70) |
| Verhältnis des gotischen Artikels zumgriechischen Artikel der Vorlage…………… | Yoshikazu MASUDA | (83) |
| 『儒林外史』——その読書人重視の立場——…………… | 阿部泰記 | 1 |

1979年7月 (第58輯)

| | | |
|--|-------------------|------|
| Biting into Reality, the Heart of Oë's <i>Personal Matter</i> …………… | Jon Barry SANDERS | (1) |
| 官岡伯人著『エスキモーの言語と文化』を読んで…………… | 高嶋稔 | (27) |
| “Cyclops”挿話の Gigantism…………… | 永原和夫 | (46) |
| ペーベルのはじめの婦人論 (2)…………… | 倉田稔 | (64) |
| 声道共振特性と声帯音源特性の複数話者間入れ換え 実験について…………… | 下村五三夫 | (81) |
| 『金瓶梅詞話』の叙述の混乱について…………… | 阿部泰記 | 1 |

1979年12月 (第59輯)

| | | |
|---|-------------------|-------|
| 16・17世紀北ロシアの修道院と農民闘争…………… | 土肥恒之 | (1) |
| ルードルフ・ヒルファディング伝初章…………… | 倉田稔 | (29) |
| 英語教育における比較文化論への展望(1)…………… | 武本昏三 | (51) |
| 能格性(Ergativity)に関する覚書(1)…………… | 高嶋稔 | (89) |
| Corrective Treatment in Foreign Language | | |
| Learning …………… | 岩城禮三 | (110) |
| メキシコ・スペイン語の完了について…………… | 寺崎英樹 | (133) |
| W. S. モームの小説の歴史的概観—その二— | | |
| —1915年から1938年まで—…………… | 脇田勇 | (150) |
| 手稿本によるオリジナル版 <i>Sanctuary</i> の研究(1) …… | 菊池昭 | (167) |
| The Diabolical Aspect of Stinks …………… | Jon Barry Sanders | (197) |
| 湯頭祖の戯曲観 一情の重視…………… | 阿部泰記 | 1 |